



新聞は工夫がいっぱい

新潟日報の秘密を
学んだよ

新聞について学ぶ出前授業が31日、五泉市石曾根の愛宕小学校で開かれた。同小の5年生約50人が参加し、新潟日报社の串田賢司さんとNIC村松の小林健人さんの話に耳を傾けた。

授業では、新聞が取材・編集・印刷までたくさんの方の手で作られていることが紹介された。文字が多くて難しそうにみえても、見出しと写真を見れば、その記事の内容が分かるように工夫されていることも学んだ。

さらに、NIC村松では夜中の2時頃から6時くらいに新聞配達行っていること、配達しながら高齢者などの安全を守る活動もしていることなども学習した。配達間違いをしないための細かい工夫も紹介され、参加した児童はとても驚いていた。

最後には「4コマ漫画やテレビ番組表はどうやって作るのか」「天気予報はなぜあるのか」などたくさん質問があり、参加した児童は積極的に楽しく新聞への理解を深めた。